

平成25年度

第1回木更津市史編集委員会

日 時	平成25年7月1日(月) 午後2時30分から
場 所	市役所6階 委員会室

1. 開 会

2. 委員長、副委員長の選出について

3. 議事

議題1 市史編集事業の経過

議題2 『図説木更津のあゆみ』の評価

議題3 今後の市史編集事業に係る協議事項

4. その他

5. 閉 会

議題 1 市史編集事業の経過

(平成 24 年度 第 3 回木更津市史編集委員会提出資料)

木更津市の修史事業のあゆみ (2012. 12. 25 実形)

①『木更津郷土誌』(市制 10 周年記念)

当初市制施行満 5 周年事業として 1947(昭和 22)年 11 月 3 日に企画され、編集委員 4 2 名が委嘱される。しかし、全員が辞退する。

↓

その後、松本斗吟・隆高鑑・石川寛・山本緑瑞・榎本武治・河田陽の 6 名が編集小委員会委員を委嘱される。しかし、5 名が辞退する。

↓

1952(昭和 27)年 1 月 24 日付で『木更津郷土誌』編集委員が改めて委嘱される。

↓ **9 か月間**

1952(昭和 27)年 11 月 3 日『木更津郷土誌』刊行

②『木更津市史』(市制 30 周年記念)

1969(昭和 44)年 9 月 5 日付で『木更津市史』編集委員が委嘱される。

↓ **3 年間**

1972(昭和 47)年 11 月 3 日『木更津市史』刊行

③『木更津市史 富来田編』(市制 40 周年記念)

1980(昭和 55)年 10 月、富来田地区を重点とした修史に取りかかる。

↓ **2 年間**

1982(昭和 57)年 11 月 3 日『木更津市史 富来田編』刊行

④『図説 木更津のあゆみ』(市制 70 周年記念)

2009(平成 21 年)年 7 月 27 日付で編集委員が委嘱される。

↓ **3 年間**

2012(平成 24 年)年 11 月 3 日刊行

※市制施行記念の刊行事業では、いずれも 3 年に満たない短期間で編さんされており、本格的な市史編さん事業が実現できていない

議題2 『図説木更津のあゆみ』評価

1. 専門家の視点から

- ①長崎市総務局企画財政部市史編さん室では、市制施行120周年記念事業として、『新長崎市史』の編集事業を実施しており、同編さん室から『図説木更津のあゆみ』の編集方針及び冊子の内容について評価を受け、編集に係る情報提供を求められている。
- ②木更津市内小学校の副教材『わたしたちの木更津』の編集に携わった方から、学校の副教材としてふさわしいものであり、採用すべきであると評価を受けている。
(参考：中学校の社会科・理科の教諭に対して『図説木更津のあゆみ』の内容や副教材としての活用等に関するアンケートを実施)

2. 市民の視点から

- ①『図説木更津のあゆみ』への関心は高く、有償頒布分1000冊のうち平成24年11月3日から平成25年6月24日までに823冊購入いただいている。
その後も電話等で購入の問い合わせや、読みやすく子供にぜひ読ませたいというお言葉をいただいている。
- ②木更津市立図書館での貸出状況は、平成24年11月8日から平成25年6月26日までに28回で、同時期に納本された同じ分野の歴史・紀行の書籍の貸出状況は、1冊あたり3～5回程度、比較すると5～9倍の貸出率となり、市民の関心は高い。
- ③インターネット個人サイトでは、秘書課発行の『きさらづ解体新書』とともに5段階評価で4ポイントとされている。

3. 調査・収集資料及び『図説木更津のあゆみ』の活用状況

- ①県内37箇所の図書館へ『図説木更津のあゆみ』を配本し、広く県民に対して閲覧できるよう供している。
- ②木更津市立図書館へも配本し、閲覧、貸出に供している。また、図書館本館だけではなく、図書館所管の公民館図書室へも配本し、公民館でも利用できるようにしている。
- ③-1 平成24年度に、中央・波岡公民館2館で2回、木更津市史編集委員会委員による講座を実施し、合計64人が参加。内容は『図説木更津のあゆみ』をもとにした木更津の歴史について。
-2 平成25年度は、波岡公民館で4月16日に木更津市史編集委員会委員による講座を実施し、33人が参加。内容は『図説木更津のあゆみ』をもとにした木更津の歴史について。
西清川公民館では、10月24日、11月26日の2回、西清川歴史学級で木更津市史編集委員会委員による江戸時代から幕末にかけての請西藩と林忠崇について『図説木更津のあゆみ』をもとにして講座を開催する予定。
-3 民間団体（木更津ユネスコ協会）から木更津市史編集委員会委員へ講師推薦の依頼をうけ、4月25日に同委員による『図説木更津のあゆみ』編集の経過

と内容について講話を実施。

- ④執筆委員で『図説木更津のあゆみ』の調査を通して得た、木更津市の淡水動物の実態と今後の保護活動への課題について、平成24年7月15日に東京湾学会で記念講演を実施。
- ⑤木更津市史編集委員会委員により、歴史雑誌へ請西藩について寄稿。
(内容「林忠崇と請西藩」『歴史読本』2013年3月号、新人物往来社)
- ⑥千葉銀行発行冊子掲載写真及び千葉銀行創立70周年記念事業ちばぎん金融資料室展示パネル用写真の提供
(株ちばぎん総合研究所発行 月刊『マネジメントスクエア』平成25年2月号掲載「五代力船(模型)」写真1点。写真パネル「蒸気河岸に停泊する外輪蒸気船福沢丸」写真1点)

4. 刊行後の市民意識

- ①平成24年度に引き続き『図説木更津のあゆみ』の購入に関する問い合わせが続くほか、有償頒布場所が文化課と郷土博物館金のすずの2箇所で行っているため、郷土博物館金のすずで購入すると共に博物館の企画展を観覧するなどの相乗効果をあげている。
- ②市内外を問わず『図説木更津のあゆみ』を読まれた方々から、更に詳しい内容を網羅した新しい『木更津市史』の刊行を求める内容の電話や、窓口で直接お話される方がおり、木更津市史編集委員会で作成した「図説木更津のあゆみ編集基本構想及び編集方針」で定められた編集方針の中で「木更津市の歴史・自然・文化に関する情報を全国へ発信する。(中略)生涯学習や学校教育などで、市民が地域の歴史を学ぶ際にテキストになることをめざし、親しみやすいよう図や写真を中心にコラムなども盛り込んで掲載し、理解しやすい市史にする。このことにより郷土木更津の歴史への興味、関心を高め、市民参画の市史編集に向けての環境を醸成し、まちづくりに資することを目的とする」ことについて徐々に効果があらわれている。

5. 新しい『木更津市史』編集への要望

木更津市史編集委員の要望として以下の事項をあげている。

- ①『千葉市史』『鴨川市史』等のように市史編集事業を継続して実施する。
- ②「図説木更津のあゆみ編集基本構想及び編集方針」をもとにして新しい『木更津市史』の基本構想及び編集方針を定めて市史を編集する。
- ③市民とともにつくる市史編集を行う。
- ④市民の間で自主学習会を立ち上げ、市と協働して市史を編集する。

議題3 新しい『木更津市史』編集に係る協議事項

1. 新しい『木更津市史』編集基本構想及び基本方針

『図説 木更津のあゆみ』の編集基本構想及び編集方針について検証し、新しい『木更津市史』編集基本構想及び編集方針を策定する。

2. 市史編集業務期間

(1)市史編集業務計画の策定 事業実施予定表の作成

(2)市史編集業務期間の設定 平成21年4月1日から平成 年 月 日まで(予定)

※これまでの市史編集事業は、市制施行周年事業として実施。以前、調査した基礎自治体では、同様に市制施行周年事業として実施している自治体が多く、ほかには市町村合併を契機に実施している。

3. 業務の内容および検討事項

(1)市史編集室の設置・運営・事務管理等

(2)新しい『木更津市史』編集に伴う部会の設置・運営・人員管理等

(3)新しい『木更津市史』編集に伴う調査の方法、対象の選定等

(4)調査員、執筆員の選定・人員管理等

(5)新しい『木更津市史』のほか、市史研究、索引・目録、DVD等の編集・製作・発行

(6)新しい『木更津市史』デジタルコンテンツ作成

(7)市域の歴史的文書・民具の収集・整理

(8)収集資料の保管または移管

(9)収集資料の活用

(10)既存刊行物の調査・収集・目録作成、既存刊行物の整合性検証等

(11)その他